

木の芽のことも

木の芽のことも そのかをりも
寝床の中まではついて来なかつたのか
お前の肌にはしみつかなかつたのか
なんでもなくねむれたのか

頭の上でゆれた不気味な葉も
ひび割れた木の幹も
それでは俺だけにむごたらしいのだ
刃のやうに 夜になると

頭の中をほじくり出しはじめた
たがやしはじめたのかもしれない
お前の顔のいろいろが白くひつくりかへり

暗い室の中に満ち満ちた
精液のやうな木の芽のかをり
お前とくちづけした時のお前の舌のかをり